

ホームページへの掲載	
済	7月6日 掲載

## 岐阜県立東濃実業高等学校

学校長 佐野 浩  
学校住所 可児市御嵩町伏見891 電話 0574-67-0504

- 1 会議の名称 平成30年度岐阜県立東濃実業高等学校 学校評議員会（第1回）
- 2 会議の構成
- |    |        |                 |
|----|--------|-----------------|
| 委員 | 奥村 悟   | 御嵩町わいわい館 館長     |
|    | 葛谷 三千代 | 本校PTA役員         |
|    | 永田 雅也  | 八百津町役場 園長       |
|    | 細野 裕子  | 願興寺修復保存会員       |
|    | 松田 明久  | パジエロ製造(株) 管理部部長 |
- (委員は五十音順)
- |     |       |         |
|-----|-------|---------|
| 学校側 | 佐野 浩  | 校長      |
|     | 今瀬 浩  | 教頭      |
|     | 林 勇二  | 教頭      |
|     | 佐藤 知子 | 事務長     |
|     | 相川 長徳 | 教務主任    |
|     | 渡邊 勝広 | 生徒指導主事  |
|     | 渡辺 克人 | 進路指導主事  |
|     | 飯田 裕仁 | 商業科主任   |
|     | 吉田 香月 | 生活産業科主任 |
- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住人や企業関係者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成30年6月20日(水) 13:30~15:30 本校校長室  
委員4人と学校側9人が出席
- 5 会議の概要
- (1) 学校長挨拶
  - (2) 授業参観
  - (3) 平成30年度教育の重点の説明
    - ① 教頭より
    - ② 教務部より
    - ③ 生徒指導部より
    - ④ 進路指導部より
    - ⑤ 商業科より
    - ⑥ 生活産業科より
  - (4) 意見聴取
    - ・ 学校運営に関すること
    - ・ 教育活動に関すること

### テーマ1：本校の現状と課題について（学校運営・教育活動）

- 意見1 ・昨年度、本校の体育祭・文化祭や吹奏楽部の演奏会に出席して、生徒のやる気に感動した。  
生徒と教職員のコミュニケーションがとれていることがわかった。
- ・「あずさカード」は、生徒達の意識を変える良い取り組みで評価できる。

- ・自分の経験から、高校3年間は人生の中で何よりもかけがえのないものである。
- ・住みたい町ということは、地域に良い高校があれば子供さんを通学させたいということである。本校から地元就職するなど、今以上にPRしてほしい。
- ・昔は伏見宿に商店があったが、現在は閉店しており、宿は疲弊している。高校としても地元の足固めをするために、例えば空き店舗で「東実ショップ」を運営し販売する取り組みを行うことが地域と連携ができるのではないかと。

- 意見2
- ・初めて高校の授業を参観した。本校の生徒は授業態度が良かった。また、アクティブラーニングが授業で実施されているのを見ることができた。
  - ・細やかに生徒に声掛けをしているのではないかとと思う。経済的に厳しい時代であるので、奨学金を受けることで将来への夢に繋がると思う。
  - ・地域の人との交流をもつことで人として育つところがある。

- 意見3
- ・願いが込められた校訓は教育を行う上で基本となる。
  - ・コミュニケーションをとることは信頼関係をつくることになり、社会に出るにあたって必要である。SNSといったツールは昔なかったもので、学校は指導が難しいと思うが、挨拶をすることで、相手のことがわかる。挨拶をかわすことで人との関係が始まっていくことになるので、本校の「挨拶日本一」を続けてほしい。

- 意見4
- ・部活動を含めて学校生活は多忙である。生徒たちはよく頑張っており、辛くても他人に助けてといわないところがある。その際、家庭の存在は大きいと思います。
  - ・河川敷で花火をやっている高校生がいたので注意したことがある。制服から他校の生徒であることがわかった。本校は、部活動が終わり、時間もないなかではあるが、遅くなくても制服に着替えて帰宅することは、いろんな意味で良いことである。

- 意見5
- ・私の職場での話だが、少し指導すると年の途中で職場に来れなくなる人がいる。職場では少ない人数でやっているのでも1人来られなくなると対応することが大変である。本校の生徒は同じ目標に向かって取り組んでいるので、これまでどおり生きる力を育ててほしい。

- 意見6
- ・選挙権が18歳になったり、今後、成人年齢が18歳に下げられたりすることになるが、身体は大人になったが、精神的に弱い部分がある。入社して環境が変わると慣れないかもしれないが、高校3年間で育て上げる難しさがあるのではないかと。

- 校長
- ・2022年4月以降、民法の改正がある。成人年齢が18歳まで下がるなど、今後、校内で対応が必要になる。本校として、どのように生きる力を育てていくかが、これからはもっと大切になっていく。
  - ・現在、不登校傾向の生徒がいて、家庭訪問するなど寄り添った支援をしている。また、5人を教育相談部の担当として分掌を設けたり、常駐ではないがスクールカウンセラーをお願いしている。

## 6 会議のまとめ

- ・第1回ということで本校から説明が中心となった。貴重なご意見をいただき感謝している。今後は、文化祭、体育祭、生徒学習成果発表会など、いろんな場面で生徒の活躍ぶりを見て、ご示唆をいただき、本校の学校運営に活かし発展につなげていきたい。今後ともご指導をお願いしたい。
- ・次回開催予定を2月1日（金）学習成果発表会見学後とします。ぜひ、ご参加をお願いします。